



2023年11月29日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムグループ
代表者名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証プライム)
問合せ先
役 職 取締役 CEOオフィスセンター担当
氏 名 小島 修一
電 話 03-3264-3148

NTT コミュニケーションズ株式会社との協業に関するお知らせ

当社は、NTT コミュニケーションズ株式会社（以下「NTT Com」という、※1）と、治療薬の開発期間短縮などを目指して協業を開始することを合意し、本日付で協業に関する覚書を締結することを決定しましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 協業の概要

本協業では、NTT Com の ICT ソリューションと当社グループがこれまで全国 4,500 超の提携医療機関に対し提供してきた臨床研究支援とを融合し、治験期間の短縮や効率化、品質向上を行います。

第一弾として、株式会社 NTT ドコモの d ポイントクラブ会員のうち 700 万人のプレミアムパネル（※2）に対し、治験情報の提供および治験参加者のリクルートメントに取り組みます。会員の属性に応じ、新たな治療法や新薬に関する情報提供、生活圏内で治験が可能な医療機関の紹介を行うことで、治験をより身近に感じ積極的に参加できる環境づくりを行い、治験参加者の早期確保に取り組みます。

2. 協業の背景

日本は高度な医療技術や設備の充実、清潔な衛生環境により平均寿命が長い長寿国とされていますが、死因の第一位であるがんや免疫疾患、神経変性疾患、また比較的罹患者の多い糖尿病や精神疾患などについては十分な治療法が確立されておらず、新薬の開発が求められています。

一方で、日本は海外と比較して治療薬の承認・流通までに要する時間が長く、米国と欧州連合で流通している新薬のうち、約 72%が国内未承認ともいわれておりドラッグ・ロス（※3）が生じています。

この問題は、治験参加者の確保が難しいことや治験を実施する医療機関のリソース不足、インフラが未整備であることに起因しています。

本協業では治験実施体制の根本的な底上げにより、治験参加者の確保などによる治験期間の短縮や、デジタルツールの活用による効率化・品質の向上を行い、新薬の開発と普及を促進することで日本の健康と福祉の向上に貢献します。

3. 協業における具体的な取り組み

(1) dポイントクラブ会員へ属性に応じた治験情報の提供および治験参加者のリクルートメント
 dポイントクラブ会員のうち700万人のプレミアパネルを対象に、許諾のとれた会員へ治験の情報提供および、治験参加者のリクルートメントを行います。

生活圏など、会員の属性に応じた情報提供や治験実施機関への誘導により、効率的に治験参加者を掘り起こし、治験期間の短縮を実現します。

(2) 提携医療機関のDXによるオンライン治験の推進

当社グループが提携する全国4,500超の医療機関に対し、NTT Comは全国8つの支社や、全国47都道府県に支社・支店を持つグループ会社の株式会社ドコモビジネスソリューションズと連携し、ICTソリューションやセキュリティ関連サービスの提案を実施し、DCT(※4)など、オンラインで可能な治験体制を構築します。これにより地域の格差なく治験に参加しやすい環境の整備を行います。

(3) 提携医療機関へのePRO(※5)およびeConsent(※6)の導入

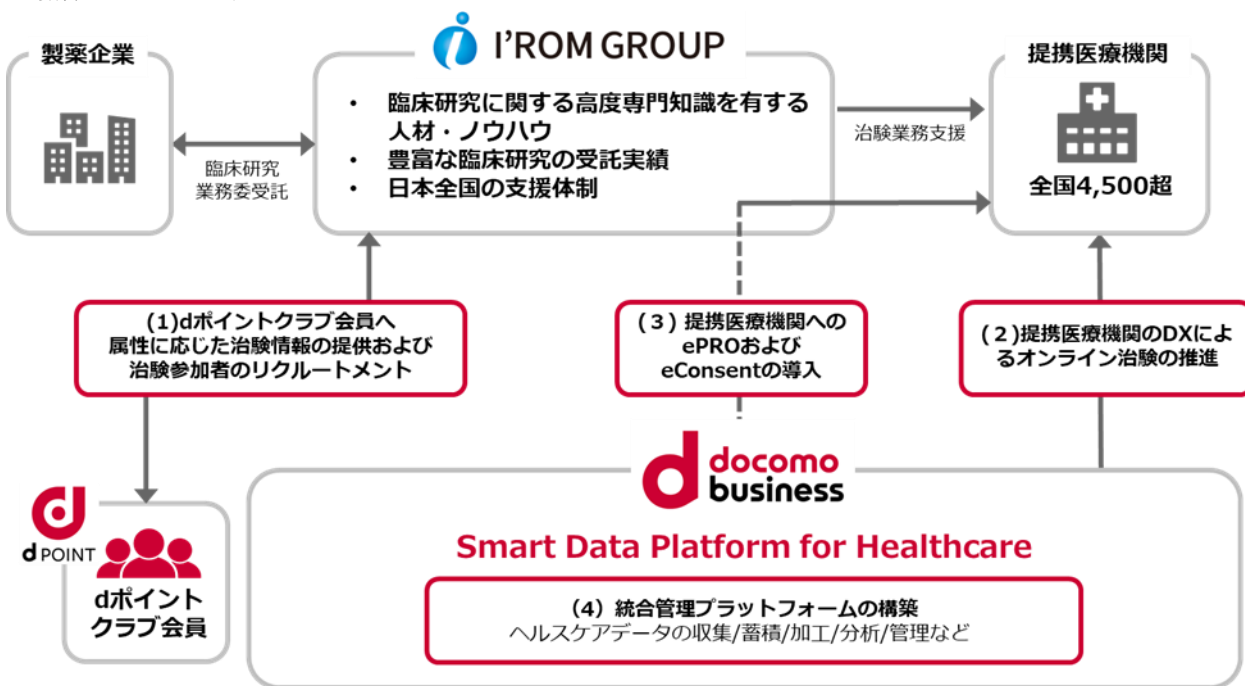
当社グループの提携医療機関へNTT ComのSmartPRO(※7)を導入し、ePRO機能を活用することで、従来紙ベースで収集されていた治験参加者の主観的評価(「痛み」や「気分が悪い」など)のオンライン取得を促進します。これにより、タイムリーな情報収集や入力漏れ低減を可能とし、信頼性の高いデータ取得による治験の品質向上と効率化を実現します。

また、治験参加の際のインフォームド・コンセントではSmartPROのeConsent機能を使うことで、医療機関にとっては同意管理の電子化による業務効率化の実現と治験参加者にとっては自宅にいながら同意説明を受けることができるという選択肢の提供が可能になります。

(4) 統合管理プラットフォームの構築

電子カルテやEDC、PHR(※8)などの情報を安全かつ効率的に活用するため、当社グループの臨床研究情報統合管理プラットフォームとして「Smart Data Platform for Healthcare」(※9)を基盤とした環境構築をめざします。

<協業のイメージ図>



4. 今後の見通し

本件による 2024 年 3 月期の業績予想に変更はありません。

今後、本協業の推進により、2030 年には医療機関への ICT ソリューションの導入や、治験を含む臨床研究全体の支援事業において、両社で 500 億円のビジネス規模を目指します。

また、今後は約 9,700 万人の d ポイントクラブ会員が治験の情報を受けやすくすることで、個人が医療情報を適切に入手し治療法を選択できるコミュニケーション基盤の確立をめざします。

両社は連携を強化し、治験の多様性への対応と公平な情報提供を行い、医薬品開発の効率化により持続可能な医療の実現に貢献します。

※ 1. NTT コミュニケーションズ株式会社について

NTT Com は 1999 年に設立され、通信事業者ならではの高品質なインフラと技術を活かし、ネットワーク、クラウド、データセンター、アプリケーション、セキュリティ、AI などの多岐にわたる ICT サービスを展開しています。2022 年にドコモグループにおける法人事業の中核を担う企業となり、「ドコモビジネス」ブランドのもと 5G・IoT などを活用した社会・産業のグローバルレベルでの構造変革、新たなワークスタイルの創出、地域社会の DX 支援などの価値を提供しています。

※ 2. プレミアパネルについて

「d ポイントクラブ」の会員に、アンケート形式で「プロモーション」や「リサーチ」を行う NTT Com のサービスです。詳細は下記 URL をご参照ください。

<https://www.ntt.com/business/services/premierepanel.html>

※ 3. ドラッグ・ロス

欧米諸国で使える治療薬が、日本では開発または承認されず使えない状況を指します。

※ 4. DCT (Decentralized Clinical Trials : 分散化臨床試験)

デジタル技術などの活用により、医療機関への来院に依存しない臨床試験手法を指します。

※ 5. ePRO (electric Patient-reported-outcome)

スマートフォンなどを活用し電子的に PRO (治療経過や症状に関する患者の主観的評価) を収集すること、またはそのシステムを指します。

※ 6. eConsent

パソコンやタブレット端末などを活用し文書や動画、ビデオ通話といった方法で試験内容を説明し、電子署名などによって参加の同意を得ることを指します。

※ 7. SmartPRO

NTT Com が提供する臨床研究を支援するデータ収集サービス (ePRO 機能と eConsent 機能を含む) です。

※ 8. PHR (Personal Health Record)

個人の健康や身体の情報記録した医療データを指します。

※ 9. Smart Data Platform for Healthcare

NTT Com が提供する医療ヘルスケア分野向けのデータ流通プラットフォームです。

以 上